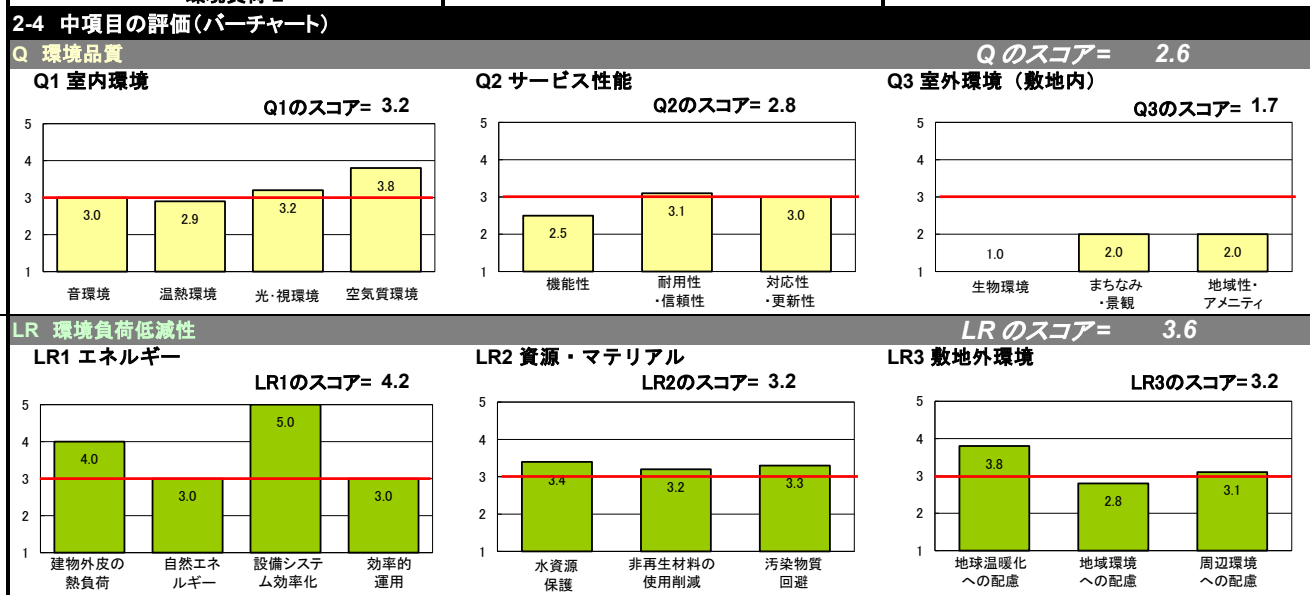
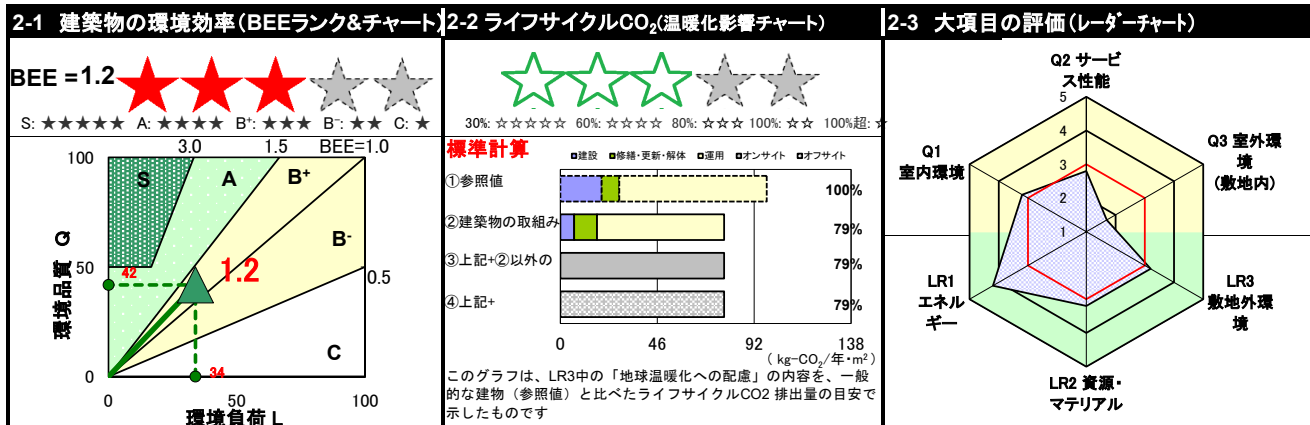




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コリス神大寺	階数	地上5F
建設地	横浜市神奈川区神大寺三丁目853番2	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年03月15日 予定	評価の実施日	2022年10月15日
敷地面積	1,570 m ²	作成者	袴田 正治
建築面積	648 m ²	確認日	2022年10月24日
延床面積	2,449 m ²	確認者	込宮 一実

外観パース等



3 設計上の配慮事項		
総合		
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級3相当。	外構緑化指数20%以上50%未満。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 BEI=0.82。	節水3などに加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率79%。 光害対策ガイドラインの項目が一部を満たす。また、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 コリス神大寺

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

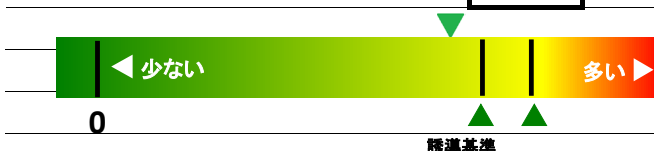
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 18 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2022年10月25日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。

③BEI= 0.82

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級3相当。

⑰給水HIVP(B)、排水VP(B)、給湯PLP(C)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

コリス神大寺

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質				-	-	-	-	2.6		
Q1 室内環境					0.40			3.2		
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0		
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	-		
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50	-		
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	-		
1.2.2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30	-		
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-		
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-		
1.3 吸音				-	-	-	-	-		
2 温熱環境				2.2	0.35	3.1	1.00	2.9		
2.1 室温制御				2.2	0.50	3.3	0.50	-		
2.1.1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63	-		
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	4.0	0.38	-		
2.1.3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	3.0	0.20	-		
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	-		
3 光・視環境				3.1	0.25	3.3	1.00	3.2		
3.1 昼光利用				3.6	0.30	4.0	0.30	-		
3.1.1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	4.0	0.60	5.0	0.50	-		
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-		
3.1.3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30	-		
3.2.1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-		
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15	-		
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25	-		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.8	1.00	3.8		
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	-		
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-		
4.2 換気				3.0	0.40	3.6	0.38	-		
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-		
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33	-		
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-	-		
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8		
1 機能性				2.2	0.40	2.6	1.00	2.5		
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	-		
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-		
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-		
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-		
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-		
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-		
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-		
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-		
2.1.1 耐震性		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-		
2.1.2 免震・制振性能		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-	-		
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-	-		
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-		
2.4.1 空調・換気設備		防 災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
2.4.2 給排水・衛生設備		防 災	⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-		
2.4.3 電気設備		防 災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
2.4.4 機械・配管支持方法		防 災	⑮信頼性	4.0	0.20	-	-	-		
2.4.5 通信・情報設備		防 災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00	3.0		
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50	-		
3.1.1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60	-		
3.1.2 空間の形状・自由さ				-	-	3.0	0.40	-		
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	-		
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	-		
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7

コリス神大寺

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑪地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ④敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	1.00	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	-	-	3.2
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		3.8	0.33	-	-	-	-	3.8
2 地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-	-	-
2 振動		-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭		-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目			-	-	-	-	-	-
<事務用途>			-	-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>			-	-	-	-	-	-
健康と安心			-	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	1.0	-	-	-	-	-	-